

# 平成 17 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結） 及び業績予想の修正に関するお知らせ

上場会社名 株式会社東理ホールディングス  
コード番号 5856

上場取引所 東証第 2 部  
本店所在都道府県 東京都

(URL <http://www.tokyorikaco.jp>)

代表者役職名 代表取締役社長 氏名 福村 康廣

問合せ先 責任者役職名 常務取締役 氏名 河野 修次 TEL (03) 3548 - 1014

親会社名 (コード番号: ) 親会社における当社の株式保有比率: %

米国会計基準の有無 無

## 1. 四半期財務情報の作成

当社は、中間（連結）財務諸表の作成基準をベースにしつつ投資家等の利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で一定の簡便な手続きを採用しております。

## 2. 平成 17 年 3 月期第 1 四半期の連結業績（平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 12 月 31 日）

### (1) 連結経営成績

(百万円未満切捨)

	売上高	営業利益	経常利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %
17 年 3 月期第 3 四半期	8,225	855	936
16 年 3 月期第 3 四半期			
(参考) 16 年 3 月期			

	四半期（当期）純利益	1 株当たり四半期（当期）純利益
	百万円 %	円 銭
17 年 3 月期第 3 四半期	1,749	9.12
16 年 3 月期第 3 四半期		
(参考) 16 年 3 月期		

期中平均株数 平成 17 年 3 月期第 3 四半期 191,686,198 16 年 3 月期

(注) 1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示す。

2. 16 年 3 月期第 3 四半期については、四半期財務諸表を作成しておりませんので、記載を省略しております。また前年同四半期との比較増減率についても記載を省略しております。

3. 株式会社東理ホールディングスは平成 16 年 10 月 1 日の設立であるため当該四半期は第 1 四半期となります。

### 【経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報】

当第 3 四半期におけるわが国経済は、企業収益の改善や海外への設備投資における生産、販売が好調で緩やかながら回復基調にありましたが、個人消費の伸びが鈍化するなど依然厳しい状況が続いております。

こうした中、ダイカスト事業において不採算部品の絞り込み、販売単価の見直しなど収益確保に努めてきておりその効果が徐々に現れてきております。計量器事業においてはマイコン型プロパンガスメーターの不需要期が続く中、検定満期の交換促進による需要増を期待しましたが販売競争が一段と厳しくなり、計画を下回りました。更にダイカスト事業に経営資源を集中するため同事業の連結子会社白河精機株式会社の経営権を平成 16 年 12 月 1 日に移譲しました。その結果当第 3 四半期連結売上高は 8,225 百万円となりました。

損益面につきましては、生産活動・外注加工費単価見直しなど原価低減活動をグループ全社挙げて徹底的に行いました結果、未達部分もありますが徐々に効果がでてきております。その結果、経常損失は 936 百万円となりました。また特別利益においては債務免除益等 248 百万円を計上しましたが、特別損失として増資関連費用、子会社整理損失等 1,058 百万円を計上しました。この結果、誠に遺憾ながら当第 3 四半期において（四半期）当期純損失 1,749 百万円となりました。

(2) 連結財政状態

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第3四半期	6,019	1,667	27.7	8.70
16年3月期第3四半期				
(参考)16年3月期				

(注) 期末発行済株式数(連結)17年3月期第3四半期 191,846,198 16年3月期

【財政状態(連結)の変動状況】

当第3四半期における当社グループの財政状態につきましては、前連結会計年度末との増減の主たる要因は平成16年12月1日に連結子会社である白河精機株式会社の経営権を株式会社金門製作所に移譲したことにより資産については移譲に伴い株式会社東京理化学工業所の債権等986百万円を、負債については同社からの借入金等931百万円と相殺しました。更に白河精機株式会社の金融機関からの借入に対する保証債務2,870百万円(平成16年9月30日現在)が解除されたことにより財政状態は大幅に改善されました。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年3月期第3四半期	881	32	622	703
16年3月期第3四半期				
(参考)16年3月期				

【キャッシュ・フローの状況】

当第3四半期は前連結会計年度の資金残高1,039百万円より290百万円減少し703百万円となりました。その内訳を示すと次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは子会社整理損失604百万円、売上債権の減少404百万円、前期末に計上した分社化に伴う従業員に退職金等の未払分508百万円により881百万円となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは投資有価証券の売却による収入152百万円、有形固定資産の取得による支出144百万円等により32百万円となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは借入金返済による支出992百万円、株式発行による収入2,020百万円等により622百万円となりました。

【その他】

資本増強のために第1回新株予約権証券の発行を決議いたしました(平成16年12月8日取締役会決議で同日開示及び平成17年1月12日臨時株主総会にて承認可決)開示日現在の発行済株式総数並びに資本金及び資本準備金は下記のとおりであります。

平成17年2月18日現在

発行済株式総数 345,858,000 株

資本金 2,055,400,000 円 資本準備金 5,331,325,000 円

(4) 連結範囲及び持分法の適用に関する事項

連結子会社数 3社 持分法適用非連結子会社 社 持分法適用関連会社 - 社

(5) 連結範囲及び持分法の適用の異動状況

連結(新規) 1社 (除外) 1社 持分法(新規) 社 (除外) - 社

3. 17年3月期の連結業績予想（平成16年10月1日～平成17年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成16年12月14日発表)	10,212	675	1,471
今回修正予想(B)	10,517	1,063	3,700
増減額(B-A)	305	388	2,229
増減率	3.0	-	-
前 期 (平成16年3月期実績)	-	-	-

上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

【業績予想に関する定性的情報等】

売上高につきましては、ダイカスト事業の前倒し受注と売上単価改訂が寄与して上方修正となる見込です。

経常利益につきましては、生産活動、外注単価見直しなど原価低減活動をグループ全社挙げて徹底的に取り組んで参りましたが、上期分の損失はカバーできず下方修正となる見込みです。なお、第3四半期後半より原価低減活動の効果がでてきております。

当期純利益につきましては、経常利益の下方修正分と併せ、ユーザー絞込みによる販売見込がなくなった製品および在庫品圧縮による棚卸資産の除却損140百万円、一部老朽化した設備の除却損71百万円、新株予約権行使に係る増資関連費用1,680百万円を計上することにより下方修正となる見込です。

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 19円29銭

要約連結貸借対照表

(単位:千円)

科目	期別	当四半期	
		(平成17年3月期第3四半期末)	
		金額	構成比
(資産の部)			%
.流動資産			
1.現金及び預金		743,393	
2.受取手形及び売掛金		1,588,458	
3.たな卸資産		1,170,261	
4.その他		172,772	
流動資産合計		3,674,886	61.1
.固定資産			
1.有形固定資産		2,158,167	35.9
2.無形固定資産		120,067	2.0
3.投資その他の資産		66,739	1.1
固定資産計		2,344,974	39.0
資産合計		6,019,860	100.0
(負債の部)			
.流動負債			
1.支払手形及び買掛金		2,319,755	
2.その他		1,964,642	
流動負債合計		4,284,398	71.2
.固定負債		68,409	1.1
負債合計		4,352,808	72.3
(資本の部)			
.資本金		500,000	8.3
.資本剰余金		3,775,925	62.7
.利益剰余金		2,607,332	43.3
.その他有価証券評価差額金		1,613	0.0
.自己株式		3,154	0.1
資本合計		1,667,052	27.7
負債・資本合計		6,019,860	100.0

要約連結損益計算書

(単位 :千円)

科目	期別	当四半期	
		自平成16年 4月 1日 至平成16年12月31日	
		金額	百分比
売上高		8,225,027	100.0
売上原価		8,401,058	102.1
売上総利益または売上総損失		176,031	2.1
販売費及び一般管理費		679,334	8.3
営業損失		855,366	10.4
営業外収益		73,016	0.9
営業外費用		154,040	1.9
経常損失		936,390	11.4
特別利益		248,383	3.0
特別損失		1,058,896	12.9
税引前四半期(当期)純損失		1,746,903	21.2
法人税等		2,237	0.0
四半期(当期)純損失		1,749,141	21.3

連結剰余金計算書

(単位:千円)

科目	期別
	当四半期 自平成16年4月1日 至平成16年12月31日 金額
(資本剰余金の部)	
.資本剰余金期首残高	1,892,570
.資本剰余金増加高	1,010,000
増資による新株の発行	-
新株予約権の行使による新株の発行	1,010,000
新規連結に伴う資本剰余金増加高	2,765,925
.資本剰余金減少高	
欠損てん補による資本準備金取崩額	1,892,570
.資本剰余金期末残高	3,775,925
(利益剰余金の部)	
.利益剰余金期首残高	3,277,896
.利益剰余金増加高	
欠損てん補による資本準備金取崩額	1,892,570
連結除外に除外に伴う剰余金増加高	527,135
.利益剰余金減少高	
四半期(当期)純損失	1,749,141
.利益剰余金期末残高	2,607,332

要約連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科 目	当四半期	
	自 平成16年4月 1日	至 平成16年6月30日
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益		1,746,903
減価償却費		377,426
引当金の増加額(は減少額)		58,445
営業外収益		7,272
営業外費用		111,195
特別利益		248,383
特別損失		1,035,369
売上債権の減少額(は増加額)		404,248
たな卸資産の減少額(は増加額)		128,328
その他営業資産の減少額(は増加額)		110,000
買掛債務の増加額(は減少額)		14,059
その他営業負債の増加額(は減少額)		508,892
その他		1,002
小計		778,157
法人税等の支払額		2,462
その他		100,419
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		<b>881,039</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金純減少額(は増加額)		5,490
有形固定資産の取得による支出		144,919
有形固定資産の売却による収入		72,304
投資有価証券の売却による収入		152,079
投資有価証券の取得による支出		3,517
無形固定資産の取得による支出		114,987
その他		1,122
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		<b>32,427</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減( )額		135,997
長期借入金の借入による収入		-
長期借入金の返済による支出		856,323
株式発行による収入		2,020,000
社債発行による収入		-
増資関連費用		429,110
社債発行費用		-
自己株式の純増( )減額		23,935
その他		-
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		<b>622,503</b>
現金及び現金同等物の減少額		290,964
現金及び現金同等物期首残高		1,039,108
連結子会社除外に伴う現金及び現金同等物の減少額		44,751
現金及び現金同等物期末残高		703,393